

空冷・水冷
ヒートポンプ

ヒートポンプ給湯



地中熱

▶仙台市太白区

医療法人社団 緑愛会

老人保健施設「オー・ド・エクラ」 介護付有料老人ホーム「オー・ド・エクラ」

贈呈
理由

地中熱ヒートポンプの活用により、お客さまと職員そして、
地域環境にも優しい施設を実現



オー・ド・エクラ

お客さま一人ひとりに あわせたサービスを提供

医療法人社団 緑愛会は、「自らが受けたいと思う医療と福祉の創造」を理念に、日本各地で病院や高齢者施設を運営する湖山医療福祉グループの一法人として、山形・宮城両県で医療と福祉を連携しながらさまざまな高齢者へのサービスを提供している。

オー・ド・エクラ(フランス語で「輝く水」の意味)は、開発が進む仙台市の南部、太白区の茂庭エリアに位置し、介護老人保健施設と介護付有料老人ホームが同一建物に入る仙台初となる大型の複合型福祉施設として2018年7月に開所。在宅サービスから施設サービスまで、お客さま一人ひとりにあわせた福祉サービスを提供している。



地中熱対応水冷式ヒートポンプチラー

建物内の各フロアや共有スペースは、光の持つ癒しのイメージと仙台にゆかりのある伝統色を融合した8つの輝きをテーマに、時間で変化する自然光とLED照明を効果的に取り入れることで、部屋全体にやさしい光が溢れる開放的かつ温かな空間を創出。お客さまは笑顔と安らぎのある暮らしを送ることができる。

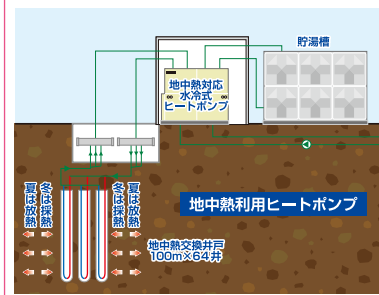
地域とお客さま、職員にも やさしい施設を目指して

建物はZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)実証事業の補助を受け、空調・給湯設備は環境にやさしい地中熱ヒートポンプシステムを導入した。地中熱は、太陽エネルギーや風力などに比べ季節や昼夜を問わず安定した自然エネルギーであるとともに、暖房時は外気より高い温度、冷房時は外気より低い温度の地中の熱を熱源とするため、効率のよい運転が可能である。

オー・ド・エクラでは、この地中熱ヒートポンプシステムを採用することで、省エネルギーやCO₂排出量の削減に貢献するとともに、地域環境の保全にも配慮した。

日々のランニングコストが低減したことで、お客さまへのサービス向上はもちろん、職員のスキルアップ研修の機会提供につながり、地域にもお客さまにも、そして職員にもやさしい施設となった。

地中熱利用ヒートポンプシステム図



医療法人社団 緑愛会 老人保健施設「オー・ド・エクラ」 介護付有料老人ホーム「オー・ド・エクラ」

所在地：宮城県仙台市太白区茂庭字新御所川40
建築設計：(株)武田菱設計
建築施工：阿部建設・仙建工業共同企業体
設備設計：(株)武田菱設計
設備施工：阿部建設・仙建工業共同企業体
延床面積：8,755.52㎡
竣工：2018年新設

■ 設備概要

地中熱対応水冷式ヒートポンプチラー
210kW×1台、105kW×1台
〔ゼネラルヒートポンプ工業〕
地中熱ヒートポンプ冷暖房給湯機169kW×1台
〔ゼネラルヒートポンプ工業〕
貯湯槽30㎡
電気式ヒートポンプ(個別分散) 3.1kW、4.2kW、
6.3kW、14kW、16kW、18kW、28kW、31.5kW、
45kW各1台、4.5kW×170台〔タイキン工業〕